

はじめに

近年は、地球温暖化の影響から年々気温の上昇が認められ、本年度も記録的な高温となりました。また、年間の降水量は大きく変化していない一方で雨が降らない日数は増加し、極端な大雨が降りやすくなっています。気候の変化は病虫害の発生にも変化をもたらし、毎年のように斑点米カメムシに関する注意報が発表されるなど、農業生産により一層の技術が必要とされるようになっていきます。

また、米価の高騰など経済動向は不透明な状況が続いている一方で、肥料価格の高止まりと農業生産資材の高騰は生産コストの増大をもたらし、農家経営の悪化が懸念されています。

そのような状況の中でも、印旛地域は耕地面積、総農家数とも県内1位を有し、新規就農者数も県内で多い重要な農業地域であることから、担い手の育成・確保を柱に、産地育成、農業経営の安定化に向けて尽力してきました。

令和4年度からは、「第6次印旛地域農林業振興方針（令和4～7年度）」の施策に基づき、普及指導計画を策定し、地域の中心となる担い手の育成や経営の安定化、園芸、農産、畜産など地域農業の発展に取り組んでいます。

本冊子は、令和7年度の普及活動状況を中心に、主な活動経過、成果等をまとめたものです。今後も関係各位の皆様と連携を深め、印旛地域の更なる農業の発展を図るため、各種の普及活動に取り組んでいきます。

最後に、協同農業普及事業の推進に御理解と御協力をいただきました市町、農業協同組合、生産組織、研究機関、そして生産者の皆様に深く感謝いたします。

令和8年3月

千葉県印旛農業事務所長 荻津 輝夫